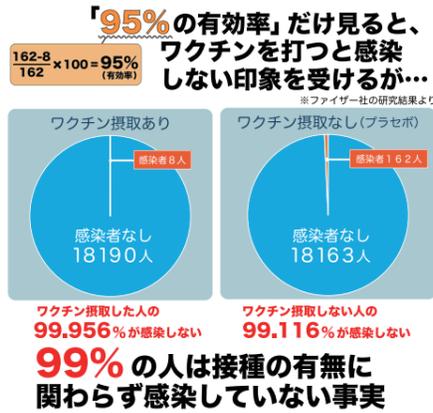


新型コロナウイルス感染症対策等特別委員会

ワクチン接種が始まり、接種待ちの方も多くいらっしゃると思います。ただ、データを見ると接種の有無に関わらず、99%の人は感染していないことがわかります。自らの健康状態と副反応のリスクを十分検討していただき接種するかどうかを判断していただくこととなります。委員会では、ワクチンの効果や、後遺症対策などについて質問しました。病院のコロナ外来でも、効果的な後遺症の治療法は確立されていないことから、免疫力を高めることなど、そもそも病気になるにくい身体づくりなどの提案を行いました。

質問後にインタビューを受けました。



活動報告写真

1月

1月3日(日) 新春歩こう会



恒例の歩こう会に参加。鳥栖市役所から朝日山を目指しました。山頂では各地区の皆さんと共に万歳三喝。

1月8日(金) 積雪



久しぶりに雪が積もりました。前日から天候を気にして外出を控え災害等に備えましたが大きな事故は無く一安心。しばしの間、子供と遊びました。

2月

2月4日(木) 保護司会パトロール



保護司の先輩と鳥栖・三養基地区を青パトで巡回しました。先輩からも多くのアドバイスをいただくことができました。

2月25日(木) 佐賀ITフェア



佐賀を中心に、全国から先進的な企業に参加し、生産性の向上を目指したITの取り組みが紹介されていました。こういう取り組みが近い将来当たり前になると思うと一気に時代が変わりますね。

3月

3月5日(金) にじゅうまるデビュー



佐賀県が通算30年かけて研究・開発した「にじゅうまる」がデビューしました。値段は高いですが、自信を持って全国に誇れるブランドです。

3月9日(火) 農業大学の視察



農林水産商工常任委員会で、農業大学校を視察しました。先進的な取り組みも多く、また生徒が現場の取り組みや質疑応答を下さり、生徒や職員の方々の意識の高さを感じました。

大学生インターンシップ活動

1月末から政治を身近に感じていただくため、2人の大学生を受け入れ、私の活動に同行してもらっています。若者が政治を我が事として感じてもらうために、定期的に受け入れています。



イノシシ被害の現場確認



他の事務所との勉強会



インターン生先輩の社会人との面談



佐賀県議会議場見学



歴史と地域発展について視察

あとかき



お陰様で県議会議員として2年が経ちました。これからも皆様のご指導をいただきながら、県民生活の向上のために邁進させていただきます。

また、今年も各地で美しい桜が咲きました。早く地域の皆さんと花見がしたいなと思いつつ、おとなしく桜を楽しみました。

麓小学校には、「御衣黄(ぎょいこう)」と呼ばれる珍しい緑の桜が咲いています。新入生達が、地域の宝物に触れ、健やかに成長されることを心よりお祈りしております。

登録
お願
いし
ます



<https://lin.ee/opcwman> 討議資料



命と心を育む社会を目指して

佐賀県議会議員

下田ひろし 県政報告

発行

佐賀県議会議員 下田 寛 〒841-0026 佐賀県鳥栖市本鳥栖町 1479-1-103 vol.8
TEL090-4994-8312 E-mail:hiroshi_shimoda_bmse13@yahoo.co.jp 2021年4月

令和3年度当初予算

政策実現!!

○対話型AI自動運転車いすの実証実験事業 1123万1千円

令和2年11月定例会で提案した、音声対話機能を持った自動運転で目的地まで案内する車いすの活用が、吉野ヶ里公園での観光案内で試験的に運用されることになりました。最新のIT、人工知能やロボットなどを活用して、車いすが単に歩行の補助だけではなく、観光などにも広く活用されることを目指しています。

○保育幼児教育センターの開設 1598万6千円

令和2年2月定例会で提案した、幼児教育センターの設置が実現しました。この事業により、保育園・幼稚園・認定こども園等に対する支援として、「幼児教育スーパーアドバイザーの設置」「保育・教育アドバイザーの育成や派遣」「保育・教育研修の体系化と充実」「小学校との円滑な接続推進」などが更にきめ細やかに行われることとなります。

○ODX啓発推進事業・Startupの聖地 SAGA 推進事業 2億2149万6千円

昨年度の議会を通して、「新たな産業を興す必要性」「ITを活用した経営手法の刷新」「起業支援」などの議論をしつこくしており、議員勉強会も主催しました。佐賀県は福岡市のような派手さはないですが、その分きめ細やかな民間支援が行われており、実はメディアにも多く取り上げられています。本年度からプログラミング教育を含めて、「起業の聖地」としての取り組みが強力に推進されます。

令和3年2月定例議会 委員会質問

政策実現!!

有害鳥獣の市街地対策ガイドラインが作成されます。

昨年鳥栖市役所付近で出没した猪や、鳥栖・三養基地区で頻発している猿出没についての対策について質問しました。市や町は、県とは違い、有害鳥獣対策の専門家がいないうち、行政職員、猟友会や警察の方々が中心となった対策が行われています。また、住宅街、学校や保育所での有害鳥獣の出没は住民への危害も大いに想定されることから、県としても市や町が対策を立てるためのガイドライン作成を行うことが必要であり、その実現に向けた対策について、県が踏み出すことになりました。

その他の質問項目

- 佐賀県再生可能エネルギー利用等基本計画について
- 産業DXの推進とスタートアップの取り組みについて



委員会質問の動画は
こちら



農林水産商工常任委員会にて発言

新型コロナワクチン情報

佐賀県内では、新型コロナワクチンを希望される方が円滑に接種できるように、地域の医療、薬剤師、看護師、事務員などの医療従事者のご協力のもと、薬剤師によるコールセンターの設置や市や町での接種環境の設置など「安心して接種していただける体制」の準備が進んでおります。PCR検査体制等を含め、関係する皆様には、厚く御礼申し上げます。

適切な情報発信により、住民の皆様が混乱なく接種できるよう、議会からも要請を行っているところです。

新型コロナワクチンは強制ではありません。ご本人が希望する場合に限り接種を行うこととなります。また、**受けない人に対して接種を強制することや、行動制限を求めるものでもなく、同調圧力や差別は決してあってはならないもの**であり、今議会でも多数の議員から要請がありました。

予防接種を受ける方は、**予防接種による発症予防及び重症化予防に期待される効果と副反応のリスクの双方について理解した上で、自らの意思で接種を受けていただきたい**と思います。なお、ワクチンは感染予防効果を期待できるものではありません。また、これまでのワクチンとは仕組みがまったく異なり、人体に実用化するのが初めての「mRNA ワクチン」と呼ばれる遺伝子物質を人工的に作り、体内に投与すると、ウイルスが持つタンパク質（抗原）が作られ、免疫システムが反応して抗体が作られる仕組みです。そして、**ワクチン接種による感染予防効果や中長期的な人体への影響については明らかになっておりません**。よって、年代ごとの重症化率等も下表「大阪府内の感染者の状況」（※佐賀県には年代別の重症化率等の資料がありませんでした）をご参考の上、接種の判断をしていただけますと幸いです。

ワクチンの効果について

感染予防

接種した人が感染しない

発症しない感染者が多数存在する新型コロナでは実証が難しい

※2021（令和3）年2月15日「第19回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会資料1」より文章を抜粋

発症予防

発症者が減少する

（ファイザー社ワクチンでは有効性は95%）

重症化予防

重症患者が減少する

新型コロナワクチンで有効とされている効果
（効果の持続期間については調査中）

佐賀県内の新型コロナウイルス感染症の状況について

佐賀県内のPCR検査陽性者数は、表の通りであり、人口千人あたり1人の感染状況となっております。（日本全体の平均値よりも低い数値となっております）

予防接種の普及により、発症する人や重症化する人は減少することが

予想されますが、現在のところ接種した人が感染しないかどうかの実証は極めて難しいといわれていると共に、変異株にワクチンが有効かどうかもわかっていませんので、接種後も感染予防のための心がけや、免疫力が維持向上される生活習慣に努めていただきますことが大切となります。

佐賀県内の患者発生状況（4月7日まで）

PCR検査陽性者数	1240
入院者数	24
ホテル療養者数	36
退院等	1179
死亡者数	13

大阪府内の感染者の状況（参考）

年代	感染者数	重症化率	死亡率
20代	7,171	0.03%	0%
30代	4,739	0.30%	0.02%
40代	4,934	0.89%	0.06%
50代	5,065	2.84%	0.30%
60代	3,453	7.18%	1.51%
70代	3,719	12.15%	6.08%
80代	2,840	8.03%	14.19%
90代	908	2.86%	21.59%
100代	36	0%	27.78%

※佐賀県には年代別の重症化率等の資料がありませんでした

1 新型コロナワクチンの副反応について

令和3年2月から国内で行われている新型コロナワクチンの先行接種における1回目接種後の副反応の途中経過をみると、接種部位の痛みを感じた者の割合が最も多く、90%を超えていました。これは、インフルエンザワクチンと比べても明らかに高く、また倦怠感（だるさ）や頭痛などの全身症状もやや多いという結果になっていました。

また、令和3年4月9日の新型コロナ副反応検討部会にて、「情報不足によりワクチンと症状名の因果関係は評価できない」としながらも、ワクチン接種後に6名の方の死亡が確認されております。



全体的に接種翌日に症状が出る方が多くなっていました。特に多かった接種部位の痛みは、接種3日後には多くの方が軽快されていました。

ワクチン副反応の比較（速報）

副反応	ファイザー社 ワクチン (17,138人) R3 3.11 現在	インフルエンザ ワクチン (22,112人) 2009年	
37.5℃以上の発熱	3.3%	3.1%	
摂取部位	赤くなる	13.8%	60.1%
	痛み	92.4%	43.8%
	腫れ	12.4%	36.0%
	熱をもつ	12.6%	28.2%
倦怠感	23.1%	19.0%	
頭痛	21.3%	14.1%	

厚生労働省資料より

2 重度の副反応（アナフィラキシー）について

まれに「重度の副反応（アナフィラキシー）」が生じます。このアナフィラキシーによって、血圧の低下や意識障害などを引き起こし、場合によっては生命を脅かす危険な状態になることを「アナフィラキシーショック」といいます。厚生労働省の報告（令和3年4月9日）によると、国内で2月17日～4月4日までに、医療機関から「アナフィラキシー疑い」として報告があったのは79件（1,096,698回接種中）で、その内女性は71件であり、40代女性に多い傾向が報告されております。

ショックやアナフィラキシーが1回目接種で認められた場合、2回目の接種は受けられません。

また、アナフィラキシーの既往や重度のアレルギー症状がある方は、1回目の接種前に必ずかかりつけ医にご相談したうえで、接種するかどうか決めてください。

新型コロナウイルスワクチンに関する専門的相談窓口について 新型コロナウイルスワクチン副反応等相談センター

電話番号 0954-69-1105

対応日時 毎日8時30分から17時まで
（土曜日、日曜日、祝日も対応しています）

相談内容の例

ワクチンの違いによる特性
ワクチンの安全性、有効性
副反応に関する相談

筆談での相談

FAX番号 0952-25-7268

対応日時

開庁日 8時30分から17時まで

多言語での相談

電話番号 092-286-6823

対応日時

毎日8時30分から17時まで
（土曜日、日曜日、祝日も対応しています）

対応言語

18言語

※ワクチン接種に係る一般的な問い合わせについては、住民票のある市町へ御相談ください。
（市町への相談内容の例）・ワクチンの接種日程 ・接種券を紛失した場合の対応
・ワクチン接種の予約（接種可能な医療機関に関する問い合わせを含む）等

3 新型コロナワクチンの健康被害救済制度について

予防接種は感染症を防ぐために重要なものですが、極めてまれに脳炎や神経障害などの重い副反応が生じることがあります。万が一、ワクチン接種を受けた方に健康被害が生じた場合、疾病・障害認定審査会で個別に審査し、因果関係が認定されると健康被害救済制度の給付が行われます。

▶▶ 詳しくは 予防接種 救済 検索